

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 34 週（8 月 19 日～8 月 25 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6 人	類型 患者 5 人、 無症状病原体保有者 1 人 血清型 O157 6 人
四類感染症	デング熱	1 人	推定感染地域 フィリピン
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2 人	菌種 <i>Klebsiella</i> sp. 2 人
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 人	血清群 A 群 1 人、G 群 2 人
	梅毒	10 人	病型 早期顕症Ⅰ期 1 人、 早期顕症Ⅱ期 5 人、 無症状病原体保有者 4 人
	百日咳	5 人	年齢階級 4 歳 3 人、9 歳 1 人、 10 歳代 1 人

<定点把握対象疾患の患者情報>

新型コロナウイルス感染症(8. 18*→8. 42: 図 1-1, 2)の定点当たり報告数は、第 31 週以降緩やかな減少傾向が続いていたが、今週は前週と比較して同水準であった。保健所別では、引き続き幸手(15. 36)保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は 63 人(前週 86 人)であり、年齢階級別では、65 歳以上が全体の約 83%となっている。手足口病(4. 27*→3. 63: 図 2-1, 2)の定点当たり報告数は、第 33 週以降減少傾向が緩やかになったものの、やや高い水準にある。保健所別で見ると、南部(7. 60)、川越市(6. 00)、坂戸(5. 50)、朝霞(5. 07)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 2 人、流行性角結膜炎 51 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 1 人、マイコプラズマ肺炎 22 人(前週 25 人)の報告があった。マイコプラズマ肺炎(図 3)の報告数は引き続き多い状態が続いており、好発年齢を年齢 3 歳階級別で見ると、3～5 歳で 6 人、6～8 歳で 6 人、9～11 歳で 4 人であり、11 歳以下の患者が 18 人と全体の約 82%となっている。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsch.html>)で御覧になれます。

* 遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載

＜新型コロナウイルス感染症発生状況（第34週）－小児科定点・内科定点からの報告－＞

図1-1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

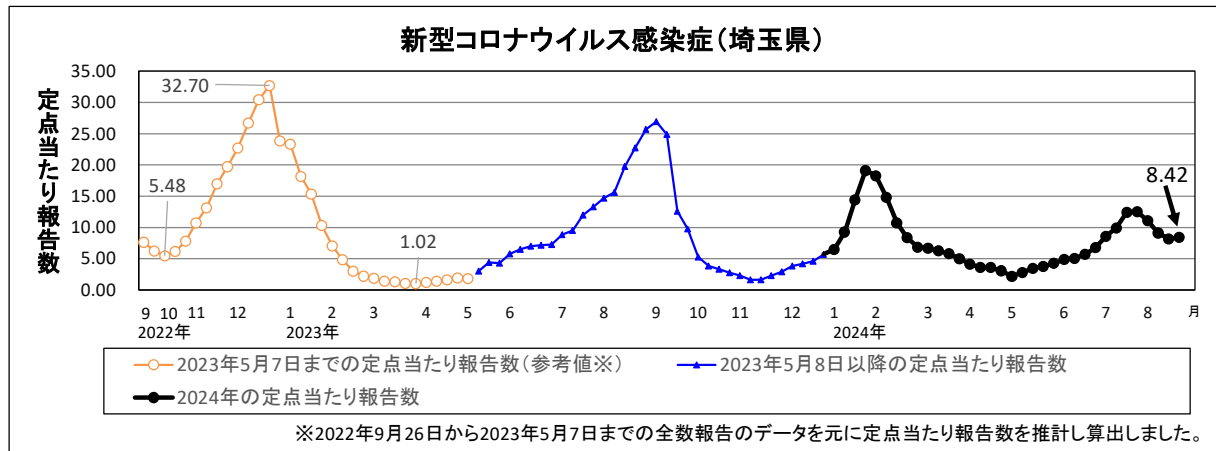
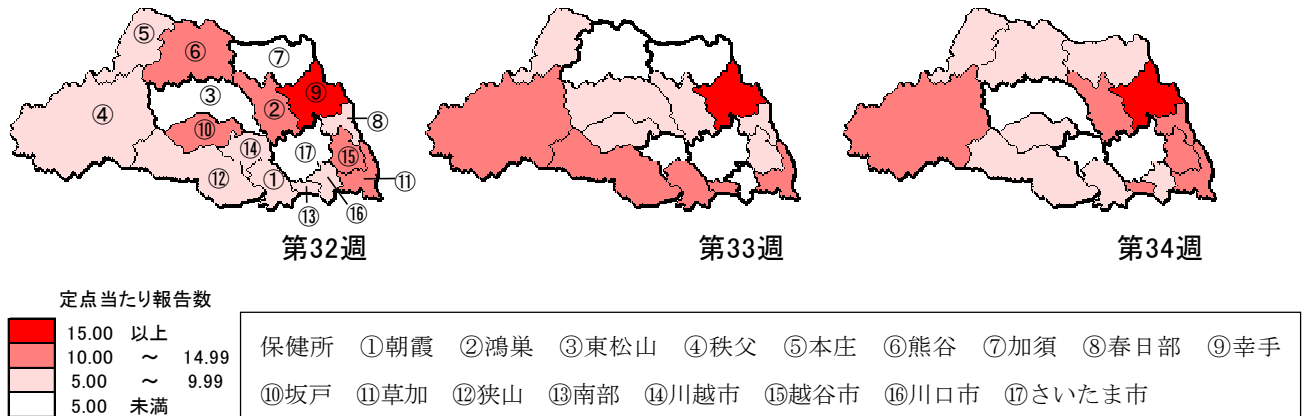


図1-2 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移 (2024年第32週～第34週)



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第34週)

(2024年8月27日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	6	102			
四類感染症					
E型肝炎		28	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		2
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		1
チクングニア熱			レジオネラ症		74
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱	1	6	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		15	侵襲性肺炎球菌感染症		64
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		8	水痘(入院例に限る)		1
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	64	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	10	280
急性脳炎		17	播種性クリプトкокクス症		7
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	88	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		22	百日咳	5	64
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		16	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第34週

8月19日~8月25日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1																				
全 県	報告数	54	2,131	30	47	277	492	20	574	39	56	116	14	2	51	-	1	22	-	-	-	63
	定点当たり	0.21	8.42	0.19	0.30	1.75	3.11	0.13	3.63	0.25	0.35	0.73	0.09	0.05	1.21	-	0.08	1.83	-	-	-	5.25
朝 霞	報告数	7	171	1	3	31	44	1	71	1	6	12	2	-	3	-	-	1	-	-	-	4
	定点当たり	0.32	7.77	0.07	0.21	2.21	3.14	0.07	5.07	0.07	0.43	0.86	0.14	-	0.75	-	-	1.00	-	-	-	4.00
鴻 巣	報告数	3	182	1	7	18	30	1	38	1	1	2	2	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.17	10.11	0.09	0.64	1.64	2.73	0.09	3.45	0.09	0.09	0.18	0.18	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	-	36	-	-	4	16	2	10	1	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4
	定点当たり	-	4.50	-	-	0.80	3.20	0.40	2.00	0.20	0.20	0.40	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	4.00
秩 父	報告数	1	61	-	1	3	-	-	5	-	-	2	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.20	12.20	-	0.33	1.00	-	-	1.67	-	-	0.67	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1.00
本 庄	報告数	3	53	2	-	1	-	-	7	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.43	7.57	0.50	-	0.25	-	-	1.75	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
熊 谷	報告数	3	116	-	1	13	19	2	21	-	5	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
	定点当たり	0.23	8.92	-	0.13	1.63	2.38	0.25	2.63	-	0.63	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.00
加 須	報告数	-	57	-	-	3	1	-	15	-	2	8	-	-	1	-	-	-	-	-	-	7
	定点当たり	-	5.70	-	-	0.50	0.17	-	2.50	-	0.33	1.33	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	7.00
春 日 部	報告数	1	119	2	9	55	25	-	10	-	1	4	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.10	11.90	0.33	1.50	9.17	4.17	-	1.67	-	0.17	0.67	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	7	215	6	2	30	2	2	29	1	2	8	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.50	15.36	0.67	0.22	3.33	0.22	0.22	3.22	0.11	0.22	0.89	0.11	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	3	85	1	-	1	35	-	33	1	-	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	定点当たり	0.30	8.50	0.17	-	0.17	5.83	-	5.50	0.17	-	0.83	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	6.00
草 加	報告数	5	198	3	4	14	40	-	26	2	4	11	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.28	11.00	0.27	0.36	1.27	3.64	-	2.36	0.18	0.36	1.00	0.09	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	8	233	3	3	30	47	4	73	2	12	8	4	2	7	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.32	9.32	0.19	0.19	1.88	2.94	0.25	4.56	0.13	0.75	0.50	0.25	0.40	1.40	-	-	-	-	-	-	1.00
南 部	報告数	1	97	2	4	20	38	-	38	16	1	12	-	-	-	-	-	4	-	-	-	5
	定点当たり	0.13	12.13	0.40	0.80	4.00	7.60	-	7.60	3.20	0.20	2.40	-	-	-	-	-	4.00	-	-	-	5.00
川 越 市	報告数	-	66	-	2	11	11	-	48	2	4	7	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	-	4.71	-	0.25	1.38	1.38	-	6.00	0.25	0.50	0.88	0.13	-	-	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	2	151	-	-	13	40	-	15	1	4	2	-	-	-	-	1	6	-	-	-	9
	定点当たり	0.15	11.62	-	-	1.63	5.00	-	1.88	0.13	0.50	0.25	-	-	-	-	1.00	6.00	-	-	-	9.00
川 口 市	報告数	3	118	3	1	15	73	4	58	4	2	15	-	-	2	-	-	5	-	-	-	5
	定点当たり	0.16	6.21	0.23	0.08	1.15	5.62	0.31	4.46	0.31	0.15	1.15	-	-	0.50	-	-	5.00	-	-	-	5.00
さいたま市	報告数	7	173	6	10	15	71	4	77	7	11	9	1	-	36	-	-	6	-	-	-	12
	定点当たり	0.18	4.44	0.24	0.40	0.60	2.84	0.16	3.08	0.28	0.44	0.36	0.04	-	4.00	-	-	6.00	-	-	-	12.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

8月 27日 14:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第34週 8月19日～8月25日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	54	-	1	5	5	2	1	1	3	-	3	2	5	6	3	3	4	3	1	5	1	
新型コロナウイルス感染症	2,131	18	23	61	27	26	23	28	15	14	27	30	130	88	226	230	258	290	199	243	175	
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	30	10	5	9	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	47	-	1	13	7	9	3	8	-	1	1	1	2	-	1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	277	-	3	13	17	23	29	34	28	35	22	20	34	4	15							
感染性胃腸炎	492	5	36	68	56	50	40	29	33	31	26	21	55	6	36							
水痘	20	-	-	-	1	1	2	3	3	1	-	2	6	1	-							
手足口病	574	3	38	129	87	63	65	76	38	13	15	18	24	2	3							
伝染性紅斑	39	-	-	2	3	3	7	4	5	6	3	3	3	-	-							
突発性発しん	56	-	8	36	10	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	116	-	7	26	23	15	9	8	5	5	5	4	5	-	4							
流行性耳下腺炎	14	-	-	-	1	-	5	1	2	3	-	-	2	-	-							
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-		
流行性角結膜炎	51	-	-	2	3	3	5	-	5	-	-	2	-	-	4	13	6	1	4	3		
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	22	-	4	12	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
新型コロナウイルス感染症(入院)	63	1	1	2	-	-	1	-	-	-	1	-	1	1	3	3	49					

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第31週 (7月29日～8月4日)

令和6年8月28日

<全国情報>

インフルエンザ/ COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は第25週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(11.55)、奈良県(0.65)、栃木県(0.61)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は45例と前週と比較して減少した。都道府県別では21都道府県から報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～9歳(6例)、10代(3例)、20代(3例)、40代(1例)、50代(2例)、60代(6例)、70代(7例)、80歳以上(15例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(27.82)、長崎県(21.34)、愛知県(20.10)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は4,588例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(117例)、1～9歳(94例)、10代(38例)、20代(61例)、30代(78例)、40代(106例)、50代(222例)、60代(429例)、70代(1,145例)、80歳以上(2,298例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は大分県(6.19)、高知県(5.68)、長崎県(5.36)、宮崎県(5.36)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第25週以降減少が続いている。都道府県別の上位2位は山形県(1.11)、新潟県(1.04)、鹿児島県(1.04)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(5.32)、福岡県(4.66)、茨城県(4.24)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は大分県(8.17)、愛媛県(5.24)、福井県(4.96)である。手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は長野県(20.91)、青森県(20.68)、滋賀県(17.33)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は青森県(0.46)、千葉県(0.39)、神奈川県(0.39)、東京都(0.38)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(4.91)、宮崎県(4.75)、青森県(4.14)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は京都府(0.08)、大分県(0.08)、鹿児島県(0.08)、香川県(0.07)である。

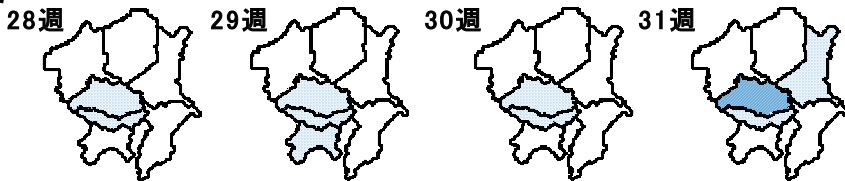
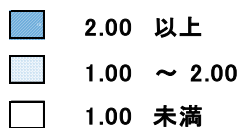
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第27週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大阪府(3.89)、埼玉県(2.67)、佐賀県(2.67)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。3都道府県から3例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(1例)、5～9歳(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年第31週(7月29日～8月4日)、2024年第32週(8月5日～8月11日):通巻第26巻第31・32合併号より

<関東情報>

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、埼玉県(2.67)からの報告が多い。

マイコプラズマ肺炎



2024年 31週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 1,988 定点当たり 0.40	450 0.29	35 0.29	46 0.61	31 0.36	59 0.23	83 0.41	102 0.24	94 0.26
新型コロナウイルス感染症	報告数 65,699 定点当たり 13.29	15,540 10.18	1,714 14.28	806 10.61	965 11.35	2,900 11.11	2,744 13.65	3,027 7.26	3,384 9.25
RSウイルス感染症	報告数 5,499 定点当たり 1.75	469 0.49	55 0.73	51 1.06	35 0.66	94 0.57	49 0.40	104 0.40	81 0.36
咽頭結膜熱	報告数 1,336 定点当たり 0.43	334 0.35	34 0.45	3 0.06	44 0.83	85 0.52	42 0.34	48 0.18	78 0.34
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 6,382 定点当たり 2.03	1,982 2.08	318 4.24	67 1.40	90 1.70	386 2.35	396 3.19	413 1.57	312 1.37
感染性胃腸炎	報告数 8,772 定点当たり 2.79	2,813 2.95	158 2.11	64 1.33	210 3.96	618 3.77	482 3.89	737 2.80	544 2.39
水痘	報告数 490 定点当たり 0.16	140 0.15	3 0.04	3 0.06	9 0.17	27 0.16	22 0.18	30 0.11	46 0.20
手足口病	報告数 30,037 定点当たり 9.57	8,389 8.78	519 6.92	333 6.94	215 4.06	1,505 9.18	1,056 8.52	2,790 10.61	1,971 8.64
伝染性紅斑	報告数 355 定点当たり 0.11	284 0.30	-	6 0.13	7 0.13	36 0.22	48 0.39	99 0.38	88 0.39
突発性発しん	報告数 837 定点当たり 0.27	262 0.27	11 0.15	25 0.52	27 0.51	50 0.30	27 0.22	79 0.30	43 0.19
ヘルパンギーナ	報告数 5,328 定点当たり 1.70	1,778 1.86	120 1.60	35 0.73	156 2.94	314 1.91	212 1.71	476 1.81	465 2.04
流行性耳下腺炎	報告数 95 定点当たり 0.03	29 0.03	2 0.03	-	1 0.02	8 0.05	3 0.02	7 0.03	8 0.04
急性出血性結膜炎	報告数 11 定点当たり 0.02	3 0.01	-	-	-	2 0.05	1 0.03	-	-
流行性角結膜炎	報告数 368 定点当たり 0.53	158 0.75	22 1.29	9 0.75	3 0.21	37 0.88	21 0.60	21 0.54	45 0.88
細菌性髄膜炎 #2	報告数 12 定点当たり 0.02	4 0.05	-	-	-	2 0.17	-	1 0.04	1 0.08
無菌性髄膜炎	報告数 18 定点当たり 0.04	5 0.06	1 0.08	-	-	2 0.17	1 0.11	-	1 0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数 457 定点当たり 0.95	99 1.14	16 1.23	-	2 0.22	32 2.67	3 0.33	37 1.48	9 0.75
クラミジア肺炎 #3	報告数 - 定点当たり -	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 3 定点当たり 0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

全国・関東情報

第32週 (8月5日～8月11日)

令和6年8月28日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(11.07)、山口県(1.07)、岡山県(0.62)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は51例と前週と比較して増加した。都道府県別では22都道府県から報告があり、年齢別では1～9歳(11例)、10代(2例)、20代(1例)、40代(2例)、50代(2例)、60代(5例)、70代(13例)、80歳以上(15例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(19.59)、長崎県(17.42)、岐阜県(14.78)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は4,192例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(119例)、1～9歳(98例)、10代(44例)、20代(39例)、30代(62例)、40代(79例)、50代(198例)、60代(399例)、70代(1,061例)、80歳以上(2,093例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は高知県(5.12)、山形県(4.67)、大分県(4.19)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第25週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.25)、富山県(1.00)、岩手県(0.98)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(5.79)、宮崎県(3.97)、大分県(3.22)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は大分県(8.61)、福井県(4.88)、千葉県(4.53)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は青森県(19.89)、宮城県(16.80)、岩手県(14.90)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は栃木県(0.70)、青森県(0.54)、神奈川県(0.49)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(6.00)、山形県(4.74)、佐賀県(3.22)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(0.17)、香川県(0.14)、長崎県(0.12)、熊本県(0.12)である。

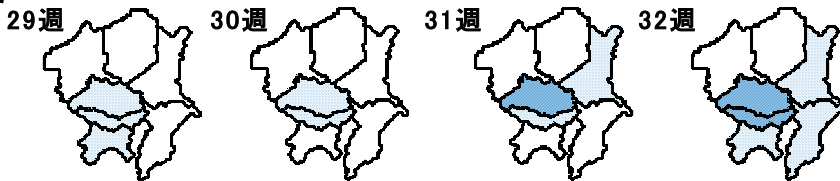
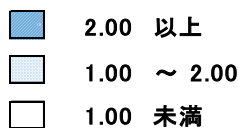
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第27週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大阪府(3.72)、福井県(3.50)、岐阜県(3.20)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。6都道府県から8例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(5例)、5～9歳(2例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年第31週(7月29日～8月4日)、2024年第32週(8月5日～8月11日):通巻第26巻第31・32合併号より

<関東情報>

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、東京都(2.12)、埼玉県(2.08)からの報告が多い。

マイコプラズマ肺炎



2024年 32週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	1,768	274	16	8	14	41	53	79	63
	定点当たり	0.38	0.20	0.13	0.12	0.18	0.18	0.31	0.21	0.21
新型コロナウイルス感染症	報告数	49,208	11,789	1,588	862	790	2,088	2,036	2,110	2,315
	定点当たり	10.48	8.75	13.34	12.49	10.39	9.32	11.84	5.49	7.62
RSウイルス感染症	報告数	4,341	413	41	47	22	87	61	98	57
	定点当たり	1.45	0.48	0.55	1.07	0.46	0.61	0.55	0.40	0.29
咽頭結膜熱	報告数	1,265	369	45	3	43	81	55	72	70
	定点当たり	0.42	0.43	0.60	0.07	0.90	0.57	0.50	0.30	0.35
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,511	1,639	197	61	81	352	337	338	273
	定点当たり	1.84	1.91	2.63	1.39	1.69	2.46	3.06	1.40	1.38
感染性胃腸炎	報告数	8,110	2,588	160	69	199	484	498	738	440
	定点当たり	2.70	3.01	2.13	1.57	4.15	3.38	4.53	3.05	2.22
水痘	報告数	454	162	11	3	4	30	26	53	35
	定点当たり	0.15	0.19	0.15	0.07	0.08	0.21	0.24	0.22	0.18
手足口病	報告数	23,693	5,536	333	172	180	852	735	1,867	1,397
	定点当たり	7.89	6.44	4.44	3.91	3.75	5.96	6.68	7.71	7.06
伝染性紅斑	報告数	437	310	3	31	3	30	40	105	98
	定点当たり	0.15	0.36	0.04	0.70	0.06	0.21	0.36	0.43	0.49
突発性発しん	報告数	791	229	16	4	22	35	35	69	48
	定点当たり	0.26	0.27	0.21	0.09	0.46	0.24	0.32	0.29	0.24
ヘルパンギーナ	報告数	3,917	1,119	61	18	107	195	152	289	297
	定点当たり	1.30	1.30	0.81	0.41	2.23	1.36	1.38	1.19	1.50
流行性耳下腺炎	報告数	120	42	1	-	3	10	8	12	8
	定点当たり	0.04	0.05	0.01	-	0.06	0.07	0.07	0.05	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	7	4	-	-	-	4	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.11	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	276	116	24	6	1	32	15	11	27
	定点当たり	0.43	0.65	1.41	0.67	0.08	0.84	0.45	0.34	0.75
細菌性髄膜炎 #2	報告数	12	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.03	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	22	7	1	-	1	-	-	2	3
	定点当たり	0.05	0.08	0.08	-	0.11	-	-	0.08	0.27
マイコプラズマ肺炎	報告数	546	123	13	3	4	25	9	53	16
	定点当たり	1.14	1.43	1.00	0.43	0.44	2.08	1.00	2.12	1.45
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	8	2	1	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.02	0.08	-	-	-	-	-	0.09

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査
2024年

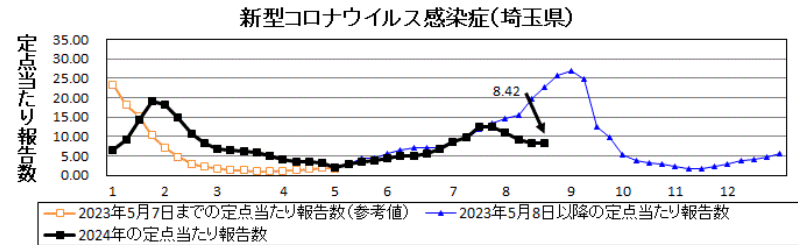
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

感染症の流行状況 2024年 第34週

2024年第34週（8月19日～8月25日）の要点

[新型コロナウイルス感染症](#)の定点当たり報告数は、第31週以降、緩やかな減少傾向が続いていましたが、今週は前週と比較して同水準でした。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↓	★★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	↓	★	突発性発疹	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↓	★★	ヘルパンギーナ	→	★★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	↑	★★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

